— CASE STUDY —

コロナ禍の全社テレワークも混乱なし PHONE APPLI PEOPLE（旧：連絡とれるくん）で働き方“急”改革を乗り越えた！

SOFT CREATE

株式会社ソフトクリエイト

業種	IT
従業員数	227名
ご担当者	経営管理本部 情報システム部 部長 長尾聡行氏 経営管理本部 情報システム部 佐久間大希氏

課題・背景	効果
社用携帯からBYODへの移行	連絡帳データをスムーズに移行でき、社用端末代も削減
オフィス内での取次ぎが、社員の負担となっていた	ひと目で社員の状況が確認でき、スムーズな電話の取次ぎを実現
コロナ禍でのテレワークの増加	在宅でも、社員との円滑なコミュニケーションが可能に

株式会社ソフトクリエイトは「PHONE APPLI PEOPLE」(旧:連絡とれるくん)やマイクロソフトの「Microsoft 365」の導入準備を進めてきており、これと並行して、社員の私用スマートフォンを業務に用いるBYODも一部社員で始めていた。

クラウド電話帳だからBYOD移行もスムーズに

導入のきっかけとなったのは、ケータイ内線の使い勝手を向上させたい、社用携帯からBYODへ移行したいという2つのニーズだった。従来は、外出の多い社員に会社からスマートフォンを支給し、FMCサービスを利用していたが、使い勝手に満足していなかった。さらに、社用端末と私用端末との2台持ちになるなど不便も多い。業務に使う連絡帳データをクラウド上で一元管理するため、「社用携帯からBYODに移行する際にも連絡帳データをそのまま引き継げる。これが圧倒的なメリットだった」。

オフィスレイアウト上に現在位置を表示

使い勝手の良さに直結する画面デザイン、そして、社員の現在位置が瞬時に把握できる「PHONE APPLI PLACE」(旧:居場所わかるくん)の存在も大きな決め手になった。「画面表示が格好いい。社員に浸透させるためにも、見た目のインパクトは大切」

連絡を取りたい相手がオフィス内にいる場合は、現在位置を直感的に把握できる。「これがテレワークですごく役にたった。誰が出社いているかがすぐにわかり、同じ画面から話したい相手に即座に内線がかけられる」。Microsoft Teamsのチャットも内線電話も場所を問わずに使えるため、「在宅勤務中もオフィスにいるのとそれほど遜色ない状況で仕事ができている」という。

Microsoft 365連携で使い勝手がさらにアップ!

導入後にMicrosoft 365とPHONE APPLI PEOPLE(旧:連絡とれるくん)を連携させたことで、さらに使い勝手がアップし、社員の満足度はさらに向上した。

特に、Microsoft 365のスケジュール表示を連携させたことが利便性をアップさせた。社員をリスト表示するメイン画面には連絡先情報やコメントと共に、Microsoft 365に登録されているスケジュール情報も表示される。ひと目でリアルタイムな状況が確認できるうえ、クリックすればその日の予定も閲覧可能だ。「連絡帳とスケジュールが同じ画面に一体化されたことで、電話の取次ぎが楽になった」という。

かつては電話帳、グループウェアの予定表、チャットと複数の画面を使い分けなければならなかったが、いまではPHONE APPLI PEOPLE(旧:連絡とれるくん)の画面からすべての情報にアクセスできる。働き方改革を進めるための大きな後押しとなっているようだ。

Web 電話帳クラウドサービス

PHONE APPLI PEOPLE (旧:連絡とれるくん)

人の価値を高め、生産性を向上させる"人"中心のクラウドサービスです。
キーワードやスキルで社内の専門家を、名刺データからお客様を簡単に探しだし、最適なコミュニケーション(チャット、メール、電話、Web会議)がとれ、コラボレーションを活性化させます。大手企業を中心に150万ライセンス活用されています。

※出典:MM総研「Web 統合電話帳アプリケーションの市場規模調査」(2020年7月)

フォンアプリ | https://phoneappli.net/product/service/papeople/